

出来ず、心ならずも党が何か知らないものを構成するに至ったのである。此の点では我等は同情を禁ずる能はない。総聯合はそれ自身階級的団体である。たゞ政治的にはやむを得ない立場に措かれてゐるのみであつて、アマリシヨ的な団体から線を絶つようになるのは時間の問題と思はれる。

更にさう云ひ機運を造つてやるのが我等の使命である。従つて将来は友誼的に堅い握手が出来ると信ずる。

(1) 逆友同志会は脱退の当時当清君の別離の辞にも